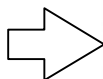


【みなきたウォークハマロードサポーターの設立】

平成18年9月28日 / タウンニュース都筑区版



北と南 清掃で架け橋



みなきたウォークを「キレイに」有志集う

▶センター北とセンター南の協力は意義深いと話す皆川健一さん



「センター北とセンター南が一緒に（何かを）やるのは初めてじゃないかな」と話すのはセンター北商業振興会会長の皆川健一さん。「南北ウォークハマロードサポーター」発起人の一人にも名を連ねた。

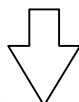
みなきたウォークの掃除を合言葉に、センター北・センター南の有志が協力。「南北ウォークハマロードサポーター」として、定期的に清掃活動などを行うことになった。毎月第四日曜日の午前11時から30分ほどかけて、みなきたウォークの両サイドからごみ拾いなどを行い、道の中心で合流する。

港北ニュータウンの象徴ともいへき二大商業地域の北と南だが、未開発だった中央地区が驛となり、これまでイベント開催なども別々がほとんど。だがここに来て中央地区の区画整理事業が竣工。「みなきたウォーク」の開通など、北と南を巡る状況は大きく変わろうとしている。センター北と南を結ぶみなきたウォークには、メイストリートとしての期待も大きい。皆川さんは「北と南がドッキングして取り組む意義は大きい」として、今後は参加者を増やしていきたいと話している。

団体としての正式発足を控えるなか、9月24日には初の共同清掃を実施した。参加者は商店会関係者をはじめ、市民団体や近隣住民などさまざま。センター南側から参加した、発起人の一人・金子進さんは「こみは、まだそれほど多くはない。目立つのはタバコとガムかな」。

【早渕川親水広場愛護会の設立】

平成18年11月30日 / タウンニュース都筑区版



早渕川親水広場 愛護会が発足

来年3月の正式オープンに先立ち清掃活動など



ニュータウン中央地区・センター橋のたもとに広がる親水広場の環境を守るうと、早渕川ファンクラブの福富洋一郎さん・中川中央1丁目内会の谷川文男さんらが呼びかけ人となり、愛護会を発足。今月26日の設立総会を経て、広場の正式オープンに先立ち、活動に乗り出した。総会で皆川会長は「早渕川の清掃を中心にして、早渕川を在りし日の姿に取り戻していければ」と話している。

「40数年前は（早渕川に）ウナギがたくさんいて、裸で取りに入っていた。同会会長に就任した金子進さんは、かつての川の風景を知る一人。保全活動などを通して、早渕川を在りし日の姿に取り戻していければ」と話している。

来年3月頃に正式オープン控える「早渕川親水広場（仮称）」の環境保全に取り組み愛護会が、このほど発足した。川や歩道の清掃活動ボランティアや地元住民らが中心で、会長はセンター北商業振興会会長の皆川健一さんが務める。

▲みなきたウォーク・センター橋で行われた設立総会

